

健全化比率DB (泉佐野市)

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所		データ年度 選択団体名	2007(H19)年 泉佐野市	2008(H20)年 泉佐野市	2009(H21)年 泉佐野市	2010(H22)年 泉佐野市	2011(H23)年 泉佐野市	
健全化判断比率一覧	1-001	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	1.97	0.12				
	1-002	実質赤字比率 *	2.06	0.12				
	1-003	早期健全化基準(11.25～15%)	-12.44	-12.44				
	1-004	(参考)公営比率 *	-41.28	-26.55				
	1-005	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)	-43.10	-27.64				
	1-006	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	-39.31	-26.43				
	1-007	連結実質赤字比率 *	-41.05	-27.52				
	1-008	早期健全化基準(16.25～20%)	-17.44	-17.44				
	1-009	実質公債費比率(3ヵ年平均)	16.94	18.41				
	1-010	実質公債費比率 *	18.27	21.07				
	1-011	単年度実質公債費比率(本年度)	19.21	22.09				
	1-012	補正単年度実質公債費比率(本年度)						
	1-013	将来負担比率	405.7	393.5				
	1-014	将来負担比率 *	426.7	412.6				
	1-015	補正将来負担比率	405.7	393.5				
	1-016	修正将来負担比率	426.7	412.6				
	1-017	補正修正将来負担比率	426.7	412.6				
	1-018	参考資料 *	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)	4.23	3.97			
	1-019		元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)	14.07	14.13			
	1-020		標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	-4.77	3.20			
	1-021		補正標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	-8.80	-0.89			
	1-022		人口増減率(5 (本年度/3.31住基人口/5年前/3.31住基人口)	2.24	1.72			
	1-023		人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口)	2.94	2.94			
	1-024		市町村類型等 (前年度市町村類型等)	都市Ⅱ-3	都市Ⅱ-3			
	1-025	財政統計研究所 *	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	1.96	0.11			
	1-026	(切捨処理後の比率)	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	-39.31	-26.42			
	1-027		実質公債費比率(3ヵ年平均)	16.9	18.4			
	1-028		将来負担比率	405.7	393.5			
	1-029	総務省 公表比率	実質赤字比率	-	-			
	1-030		連結実質赤字	39.3	26.4			
		実質公債費比率(3ヵ年平均)	16.9	18.4				
		将来負担比率	405.7	393.5				
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	1.96	0.11			
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-			
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	1.97	0.12			
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	2.06	0.12			
	2-035	早期健全化基準(11.25～15%)		-12.44	-12.44			
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字) A (本年度分)		405,224	24,203			
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) B=C+D (本年度分)		20,588,858	20,573,622			
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) C (本年度分)		19,717,662	19,757,618			
	2-039	臨時財政対策債発行可能額 D (本年度分)		871,196	816,004			
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計		
2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1～	一般会計等1	実質収支額	405,224	24,203			

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名	公共用地先行取	公共用地先行取得事業特別会計			
2-043		一般会計等2	実質収支額	0	0			
2-044		一般会計等3	会計名					
2-045		一般会計等3	実質収支額					
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062		一般会計等12	会計名					
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		A	一般会計等	合計(1~16)	405,224	24,203		
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	-39.31	-26.42		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	39.31	26.42		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	-39.31	-26.43		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	-41.05	-27.52		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-17.44	-17.44		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	-41.28	-26.55		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	-43.10	-27.64		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	-8,094,033	-5,437,343		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	20,588,858	20,573,622		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	19,717,662	19,757,618		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	871,196	816,004		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	405,224	24,203	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保健事	国民健康保険事業特別会計	
	3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	311,365	279,972	
	3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	②	②	
	3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	介護保険事業	介護保険事業特別会計	
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	39,876	142,524		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	⑤	⑤		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	老人保健医療事	老人保健事業特別会計		

3-093	10	公営事業3	実質収支額	-80,081	-34,492		
3-094	11	公営事業4	事業区分	0	③		
3-095	12	公営事業4	会計名			後期高齢者医療事業特別会計	
3-096	13	公営事業4	実質収支額		10,916		
3-097	14	公営事業5	事業区分	0	0		
3-098	15	公営事業5	会計名				
3-099	16	公営事業5	実質収支額				
3-100	17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101	18	公営事業6	会計名				
3-102	19	公営事業6	実質収支額				
3-103	20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104	21	公営事業7	会計名				
3-105	22	公営事業7	実質収支額				
3-106	23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107	24	公営事業8	会計名				
3-108	25	公営事業8	実質収支額				
3-109	26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110	27	公営事業9	会計名				
3-111	28	公営事業9	実質収支額				
3-112	29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113	30	公営事業10	会計名				
3-114	31	公営事業10	実質収支額				
3-115	32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116	33	公営事業11	会計名				
3-117	34	公営事業11	実質収支額				
3-118	35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119	36	公営事業12	会計名				
3-120	37	公営事業12	実質収支額				
3-121	38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122	39	公営事業13	会計名				
3-123	40	公営事業13	実質収支額				
3-124	41	法適1	会計名	水道事業会計	水道事業会計		
3-125	42	法適1	資金不足・剰余額	911,635	811,399		
3-126	43	法適2	会計名	病院事業会計	病院事業会計		
3-127	44	法適2	資金不足・剰余額	-2,693,166	-184,039		
3-128	45	法適3	会計名	0	0		
3-129	46	法適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-130	47	法適4	会計名	0	0		
3-131	48	法適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-132	49	法適5	会計名	0	0		
3-133	50	法適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-134	51	法適6	会計名	0	0		
3-135	52	法適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-136	53	法適7	会計名	0	0		
3-137	54	法適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-138	55	法適8	会計名	0	0		
3-139	56	法適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-140	57	法適9	会計名	0	0		
3-141	58	法適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-142	59	法適10	会計名	0	0		
3-143	60	法適10	資金不足・剰余額	0	0		

3-144	61	法適11	會計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	會計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	會計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	會計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	會計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	會計名	宅地造成事業会	宅地造成事業会計		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	-6,988,886	-6,487,826		
3-156	73	法適17	會計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	會計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	會計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	會計名	下水道事業特別	下水道事業特別会計		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	0	0		
3-164	81	法非適2	會計名	0	0		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-166	83	法非適3	會計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	會計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	會計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	會計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	會計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	會計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	會計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	會計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	會計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	會計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	會計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	會計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	會計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	會計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	會計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	-8,094,033	-5,437,343		
4-201	実質公債費比率*	四捨五入	(3カ年平均)	16.94037	18.41063			
4-202	実質公債費比率(総務省)	切捨て	(3カ年平均)	16.9	18.4			
4-203	実質公債費比率1*	四捨五入	(前々年度分)	16.65916	15.89577			
4-204	実質公債費比率2*	四捨五入	(前年度分)	15.89577	18.26617			
4-205	実質公債費比率3*	四捨五入	(本年度分)	18.26617	21.06995			
4-206	補正単年度実質公債費比率*		(本年度分)	19.21217	22.09033			
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前々年度分)	2,882,168	2,870,090			
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前年度分)	2,870,090	3,231,831			
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(本年度分)	3,231,831	3,722,168			
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前々年度分)	20,609,775	21,089,249			
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前々年度分)	19,582,902	20,129,129			
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前々年度分)	1,026,873	960,120			
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前々年度分)	3,308,977	3,033,566			
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前年度分)	21,089,249	20,588,858			
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前年度分)	20,129,129	19,717,662			
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前年度分)	960,120	871,196			
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前年度分)	3,033,566	2,895,871			
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(本年度分)	20,588,858	20,573,622			
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(本年度分)	19,717,662	19,757,618			
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(本年度分)	871,196	816,004			
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(本年度分)	2,895,871	2,907,858			
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前々年度分)	4,232,137	4,192,925			
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額	(前々年度分)					
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額	(前々年度分)	0	0			
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債	(前々年度分)	1,812,592	1,591,130			
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額	(前々年度分)	115,096	114,590			
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	594	708			
4-228		⑦ 一時借入金の利子	(前々年度分)	30,726	4,303			
4-229		⑧ 特定財源の額	(前々年度分)					
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	979,848	649,735			
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	323,626	267,352			
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前々年度分)	913,472	999,579			
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)	(前々年度分)	640,728	665,597			
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	0	0			
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	451,303	451,303			
4-236		⑮ 標準税収入額等	(前々年度分)	19,200,657	19,480,040			
4-237		⑯ 普通交付税額	(前々年度分)	382,245	649,089			
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前々年度分)	1,026,873	960,120			
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債	(前々年度分)	0	0			
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	0	0		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	0	0		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)	0	0		

4-246		地方公共団体以外の者の債務(前々年度分)		0	
4-247		その他これらに準ずると認めら(前々年度分)	594	708	
4-248		利子補給に係るもの(前々年度分)	0	0	
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(前年度分)	4,192,925	4,376,070	
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(前年度分)			
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(前年度分)	0	0	
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(前年度分)	1,591,130	1,628,409	
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(前年度分)	114,590	114,239	
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(前年度分)	708	1,043	
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(前年度分)	4,303	7,941	
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(前年度分)			
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	649,735	401,859	
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	267,352	211,341	
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(前年度分)	999,579	1,136,858	
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(前年度分)	665,597	694,510	
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	0	0	
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	451,303	451,303	
4-263		⑮ 標準税収入額等(前年度分)	19,480,040	19,437,055	
4-264		⑯ 普通交付税額(前年度分)	649,089	280,607	
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(前年度分)	960,120	871,196	
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(前年度分)	0	0	
4-267		⑥の内訳			
4-268		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(前年度分)	0	0	
4-269		いわゆる五省協定等により、利(前年度分)	0	0	
4-270		国営土地改良事業並びに独立(前年度分)	0	0	
4-271		地方公務員等共済組合が建設(前年度分)	0	0	
4-272		社会福祉法人が施設の建設の(前年度分)	0	0	
4-273		損失補償又は保証に係る債務(前年度分)		0	
4-274		地方公共団体以外の者の債務(前年度分)		0	
4-275		その他これらに準ずると認めら(前年度分)	708	1,043	
4-276		利子補給に係るもの(前年度分)	0	0	
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(本年度分)	4,376,070	4,338,978	
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(本年度分)			
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(本年度分)	0	0	
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(本年度分)	1,628,409	2,161,629	
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(本年度分)	114,239	113,991	
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(本年度分)	1,043	1,955	
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(本年度分)	7,941	13,473	
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(本年度分)			
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	401,859	356,802	
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	211,341	166,642	
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(本年度分)	1,136,858	1,225,629	
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(本年度分)	694,510	707,482	
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	0	0	
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	451,303	451,303	
4-290		⑮ 標準税収入額等(本年度分)	19,437,055	19,196,410	
4-291		⑯ 普通交付税額(本年度分)	280,607	561,208	
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(本年度分)	871,196	816,004	
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(本年度分)	0	0	
4-294		⑥の内訳			
4-295		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(本年度分)	0	0	
4-296		いわゆる五省協定等により、利(本年度分)	0	0	
4-296		国営土地改良事業並びに独立(本年度分)	0	0	

4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	0	0			
4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		0			
4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	1,043	1,955			
4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	0	0			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	405.727	393.511		
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	405.7	393.5		
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	426.740	412.568		
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	405.727	393.511		
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	426.740	412.568		
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	133,196,468	127,984,742		
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	61,411,200	58,467,984		
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	71,785,268	69,516,758		
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	20,588,858	20,573,622		
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	19,717,662	19,757,618		
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	871,196	816,004		
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑰)	(本年度分)	2,895,871	2,907,858		
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る	C-D	(本年度分)	17,692,987	17,665,764		
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高	74,998,257	75,093,556		
	5-317	に用いた、将来負担	債務負担行為に基づく支出予定額		783,221	434,381		
	5-318	額等の算出に係る基	公営企業債等繰入見込額		33,850,221	33,514,147		
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額	479,567	368,903		
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額	6,878,080	6,776,098		
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	8,113,089	6,360,314	
	5-322			地方道路公社	0	0		
	5-323			土地開発公社	8,113,089	6,360,314		
	5-324			第三セクター等	0	0		
	5-325			連結実質赤字額	8,094,033	5,437,343		
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額	0	0		
	5-327		充当可能財源	充当可能基金	3,715,360	2,207,462		
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	19,586,516	18,496,172	
	5-329				うち都市計画税	16,620,331	16,188,485	
	5-330			基準財政需要額算入見込額	38,109,324	37,764,350		
	5-331		A	将来負担額	合計	133,196,468	127,984,742	
	5-332		B	充当可能財源等	合計	61,411,200	58,467,984	
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	71,785,268	69,516,758	
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	2,895,871	2,907,858	
	5-335		C-D	将来負担比率算定の方母の額	合計	17,692,987	17,665,764	
	参考比率	6-336		実質黒字比率(+)又は 実質赤字比率(-)		1.96	0.11	
		6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+)又は 連結実質赤字比率(-)		-39.31	-26.42	
6-338		(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		16.9	18.4		
6-339			将来負担比率		405.7	393.5		
6-340			実質赤字比率	-	-			
6-341		総務省 公表比率	連結実質赤字比率		39.3	26.4		
6-342			実質公債費比率(3ヵ年平均)		16.9	18.4		
6-343			将来負担比率		405.7	393.5		
6-344		参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		0.97	0.06		
6-345		⇒ 歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		-19.46	-12.64		
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		7.77	8.65			
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		172.60	161.56			

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	1.67	0.09		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	-33.31	-20.27		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	13.30	13.88		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	295.43	259.19		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	2.67	0.16		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	-53.37	-35.52		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	21.31	24.32		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	473.35	454.15		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	2.73	0.16		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	-54.47	-36.93		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	21.75	25.28		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	483.12	472.17		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	3.98	0.24		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	-79.55	-53.25		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	31.76	36.46		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	705.54	680.85		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	405,224	24,203		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	-8,094,033	-5,437,343		
6-366		実質公債費負担額	3,231,831	3,722,168		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	71,785,268	69,516,758		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	41,590,806	43,028,399		
6-369		(2)歳入一般財源等	24,298,454	26,820,300		
6-370		(3)基準財政需要額	15,165,258	15,306,924		
6-371		(4)基準財政収入額	14,858,715	14,722,789		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	101,745	102,103		
対前年増減	7-373	実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率	-1.85		
	7-374	対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率	-1.93		
	7-375		早期健全化基準	0.00		
	7-376	(参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率	14.73		
	7-377	対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率	15.46		
	7-378	連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率	12.88		
	7-379	対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率	13.53		
	7-380		早期健全化基準	0.00		
	7-381	実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)	1.47		
	7-382	対前年増減*	単年度実質公債費比率	2.80		
	7-383		補正単年度実質公債費比率	2.88		
	7-384	将来負担比率	将来負担比率	-12.22		
	7-385	対前年増減*	補正将来負担比率	-14.17		
	7-386		修正将来負担比	-12.22		
	7-387		補正修正将来負担比率	-14.17		
	7-388	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	-381,021		
	7-389	対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額	2,656,690		
7-390		実質公債費負担額	490,337			
7-391		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	-2,268,510			
7-392	健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)	-15,236			
7-393	対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)	39,956			
7-394		臨時財政対策債発行可能額	-55,192			
7-395	参考比率分母	歳入総額	1,437,593			
7-396	対前年増減*	歳入一般財源等	2,521,846			
7-397		基準財政需要額	141,666			
7-398		基準財政収入額	-135,926			

団体指定・健全化比率DB

泉佐野市・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館
<http://zaisei.net/>